

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103136
法人名	医療法人 創実会
事業所名	グループホーム はなの家
所在地	松山市六軒屋町3 - 19
自己評価作成日	平成21年 10月 14日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

母体が河田外科、脳神経外科で、隣の施設の1Fにはあらきクリニック泌尿器科もあり、医療との連携はとれており安心できている。
年に一回の「はな祭り」では、多くの地域の方に来ていただき、交流できている。
毎月避難訓練をして、緊急時に備えている。
研修にも積極的に参加して、質の向上に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者には野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付けをしていただいている。利用者に食べたいものを聞き、回転寿司などの外食に行くこともある。調査訪問時、ペラダには、つるし柿が干してあり「好きなんよ、食べ頃になったらこっそり食べよ」と楽しみにされている方もあった。利用者の誕生日には、ご本人のお好きなメニューでお祝いされており、経管栄養の方も、医師と相談しながら無理することなく、口から食べることを楽しむことができるように支援されている。
トイレにタオルを準備し、トイレ介助の際には、ひざにかけたり、利用者の状態を見ながら、外で待つ等、プライバシーに配慮されている。調査訪問時、職員は利用者と、個人的なことについての話は小さな声でされている様子がうかがえた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名	はなの家
(ユニット名)	3F 桃
記入者(管理者) 氏名	河田 明美
評価完了日	H21年 10月 14日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 施設全体の理念と各ユニット内の理念をつくっており、毎日申し送り時に唱和し、仕事にのぞんでいる。	
			(外部評価) 「ぬくもりは我が家のように」という理念のもと、各ユニット職員で話し合い、ユニットごとの理念も作成されており、日々の申し送りには、声に出して読み上げておられる。	管理者は、今後、ユニットごとの理念を新たに作成することを考えておられる。さらに、この機会を事業所が地域の中でどのようなことを目指していくのか、職員とともに話し合う機会にされてほしい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 味酒小の4年生の授業や「ふれあいクラブ」の生徒さんが定期的に来られ、交流をしている。民生委員さんを通じて、地域のお年寄りの集まりにも参加している。他のグループホームの夏祭りにも参加している。	
			(外部評価) 味酒小学校のクラブ活動「ふれあいクラブ」の生徒が定期的に訪問してくれており、利用者と一緒に折り紙をしたりゲーム等を楽しませてくれている。地域のサロンに利用者とともに参加して、地域の方との交流をされている。	事業所では「利用者とともに地域に出かけて行き、顔見知りの関係を作り、地域の方が事業所に立ち寄ってくださるようになれば」と考えておられる。地域と行き来できるような関係作りへの具体的な取り組みを、今後さらにすすめていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 10月には、東中の2年生の生徒の職場体験を受け入れ、「楽しく過ごせた」と福祉の仕事の興味をもたれたようである。母体病院の医師が、公民館等で講演をされ、多くの地域の方が参加された。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方、民生委員さん、消防の方に参加していただき行事の報告、取り組んでいる内容、今後の予定をお伝えして、意見をいただいている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議では、事業所の行事等の活動報告をされたり、時には職員が外部研修で知り得た、おやつを試食していただいたこともある。地域の方から地域の行事の案内をいただいた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議の参加をはじめ、市社協の研修には積極的に参加して、分からない事を相談したり、アドバイスをもらっている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者に、ご家族からの相談ごとや利用者の生活支援について相談されることもある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束はしてない。必要な場合は、家族の希望もお聞きし、相談して同意書をいただくことにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>現在は、経管栄養のチューブを抜いてしまう方についてミトンを使用しているが、ご家族と相談しながら、利用者の気が紛れるような工夫を重ね、少しでも、ミトン使用の時間が短くなるように取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	ミーティングでは、虐待についての勉強会を行い、みんなで理解して、自らが虐待する立場であってはいけないことを認識している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	成年後見制度や、日常生活自立支援事業についてはミーティングで学び、必要な利用者には支援できる態勢ができている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	入居相談があった時より、医療連携や終末期ケア、年間行事など説明を行い、契約時には再度確認しあいながら納得していただき同意を得ている。介護報酬の改定があった際には、説明をして理解していただいている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	家族会では意見を言っていただけの機会をもったり、面会時には近況を報告して、要望があれば言っていたくようにしている。苦情受付窓口は、管理者になっており対応をしている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回にのミーティングの場で話し合う機会を設けており、運営者にも伝えて、反映させている。 (外部評価) 管理者は、職員個々の必要性等も踏まえて外部研修の受講をすすめておられる。職員は毎月のミーティングで、研修時に学んだことを報告されており、職員からの提案で、車椅子の利用者の移動時に使用する「スライドボード」を購入されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 昼食の時間には、ユニット毎に交替に時間を設けており、向上できるような配慮を下さっている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修内容はユニット毎に配布して、希望の研修に参加でき、研修費に対する補助がある。研修内容は月に1回のミーティングで発表して情報を共有している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 城西、勝山地区のグループホームの情報交流会があり、定期的に集まり、交流を深めている。10月にははなの家のいもたきに参加していただいた。相互研修に参加して、他のグループホームでの経験ができた。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居相談があった時から、見学していただき可能な限り、本人にも見学して、ユニット内で過ごす時間をもって、不安な事、困っていることを聞き、安心できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>困っていることや、不安な事を詳しく聞き、入居に至るまで連携を密にして、信頼していただける態勢づくりをしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談の時より、必要なサービスを提供しながら、安心した生活ができるよう支援している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事は、職員も一緒に同じテーブルを囲み、施設周辺の散歩や、洗濯物たたみなど、共に行いながら関わっている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の面会時には、近況をお伝えしたり、状態が変化した時（発熱など）には必ず連絡して、受診結果を報告している。県外の家族様には、メールでのやり取りでお伝えしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族以外にも、親戚の方や友人も面会に来られている。本人さんが住んでいた家まで、散歩に行ったり、希望があれば電話もできる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員とともに地区の敬老会に出かけ、ご家族が日舞を舞う姿を楽しまれた。又、小学生のお孫さんの運動会を見に行かれた方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) リビングにて、利用者さん同志でおしゃべりしながら洗濯物をたたまれたり、テレビを見られたりしている。一人でいる利用者に対しては、席を移動して職員が、最初の話題づくりをしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 5月に開催している「はな祭り」の案内を出したり、季節の便りを出して、関係が途切れないようにしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 選挙に行きたい方にはお連れしたり、家に帰りたい方には、家まで連れ添ったりして、日々本人の思いを組みとりながら、意向に添うようにしている。	
			(外部評価) 職員は、利用者がしゃべりやすくなるよう、「にこにここと聞き役になる」ようにかかわり、利用者の思いの把握に努めておられる。	今後、職員は記録の研修に参加する予定になっており、書式等も工夫していくことを検討されている。さらに利用者個々のアセスメントの充実を図り、ケアにつなげていかれることが期待される。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) これまでの暮らし方を本人に聞いたり、家族より生活歴を聞き、馴染みのある暮らし方ができるよう支援している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 食事や、入浴の時間は本人の意向を聞いたり、毎日のリズムに合わせている。毎日バイタルサインのチェックを行い、普段と様子が違う場合は、医師の診察を受けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の暮らしから、問題点を見出し、面接時には家族から情報を得たり、月に一回のミーティングで職員の意見を聞き、ケアプランに反映している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>担当職員がご本人、ご家族の要望を聞き取り、カンファレンス時に話し合い、介護計画に採り入れて作成されている。ご家族には、計画について内容を確認していただき、ご意見をうかがっておられる。毎月の職員ミーティングでモニタリングをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>排泄、食事、水分量に関しては個別に記入し、時間毎の本人の様子、処置、診察などは個別記録用紙に記入している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族が宿泊するための簡易ベッドを用意して、必要に応じて食事も提供している。 現在満床であるため、ショートステイの受け入れはしていない。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月に一回来る移動理美容車や、訪問マッサージの利用、移動パン屋では、おこずかいを持って好きなパンを買っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 主治医による週に一回の往診があり、歯科、皮膚科、 眼科は、訪問診療が受けられる態勢が整っている。 循環器の医師に、月に一回訪問診療を受けている方も いる。 (外部評価) 休日以外は、母体病院へ「物療」に行かれる方がい る。敷地内に母体病院があり、24時間対応してくれ る。以前からのかかりつけ医への受診は、ご家族が付 き添っておられる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 管理者が看護師であるため、緊急時には休日、夜間に 関わらず、いつでも連絡が取れる態勢にある。 他ユニットの看護師とも連携を取り支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 定期的に訪問して、県外の家族様に対しては、洗濯物 の交換の援助を行っている。入院先の医師や看護師と の情報交換を行い、早期に退院でき受け入れできるよ うにしている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居時にターミナルケアの話をしているが、重度に なった時期には、家族の意向を医師を含めた上で話し 合い、希望に添えるようにしている。 (外部評価) 医師である法人代表者の勉強会が行われている。利用 者の状態変化時には、必要に応じてご家族や医師を交 えて話し合われており、今年、看取り支援を行った 際、ご家族は、食事介助されたり、居室に宿泊して、 とともに協力しながら看取られた事例がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救急時の対応の研修に参加したり、ミーティングで皆で実技を行い、復習している。 マニュアルを作成している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 毎月一回初期消火、通報の訓練を行っている。利用者を含めての避難も定期的に行っている。法人をあげて、消防署の方の指導を受けて、水消火器を使っての消化や、消火栓での使用訓練を行った。 (外部評価) 事業所の敷地内は全面禁煙になっている。3~4ヶ月に一度、実際に布団等を使用して職員で避難訓練をされている。運営推進会議時に救急法、AEDの使い方の講習が行われて、今後は、消防署の方に勝山地区の避難場所について等、講演していただくようになっている。	建物の2, 3, 4階部分にホームがあり、車椅子を使用されている利用者も多く、職員の不安もある。いざという時に駆けつけてくれるような協力者を増やし、又、いろいろな場面を想定した訓練を行い、利用者、職員の安心と安全に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 入浴時や、トイレ利用時のさりげない配慮をして安心してもらっている。 利用者ひとりひとりに、気配りをした声掛けをしている。 (外部評価) トイレにタオルを準備し、トイレ介助の際には、ひざにかけたり、利用者の状態を見ながら、外で待つ等、プライバシーに配慮されている。調査訪問時、職員は利用者と、個人的なことについての話は小さな声でされている様子うかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 失語がある方に対しては、身振り手振りで思いを組み合わせ、理解している。 誕生日には、希望を聞いて本人の好むものを出したり、外出に行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴の時間、食事の時間など、希望を聞きながら、それぞれのペースにあうように支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 移動理容室や訪問散髪を本人の希望を聞きながら、利用している。 外出時には一緒に服を選んで、好みのものを着ている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 誕生日には好物のものを用意したり、外出に行くこともある。 料理の下ごしらえを手伝ってもらったり、食事の際のテーブル拭きをしていただいている。	
			(外部評価) 利用者には野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付けをしていただいている。利用者に食べたいものを聞き、回転寿司などの外出に行くこともある。調査訪問時、ベランダには、つるし柿が干してあり「好きなんよ、食べ頃になったらこっそり食べよ」と楽しみにされている方もあった。利用者の誕生日には、ご本人のお好きなメニューでお祝いされており、経管栄養の方も、医師と相談しながら無理することなく、口から食べることを楽しむことができるように支援されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日、食事摂取量、水分量のチェックをしており、浮腫や水分には注意している。 献立は、バランスを考えて作成しており、キザミ食やトロミを使うなど配慮している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行っており、夜間は義歯を外して定期的に洗浄剤を使用して清潔に保っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表をつけて、排泄の間隔を把握してトイレ誘導を行っている。 夜間はポータブルトイレを使用したり、その人に合った方法をとっている。	
			(外部評価) 職員は、利用者個々の排泄パターンを記録して把握に努め、時間で声かけされ、トイレでの排泄ができるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳や、ヨーグルト、繊維質のものをとり入れている。 入浴時には腹部のマッサージを行い、排便につなげている。 散歩、歩行訓練など、適度な運動をしている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 希望を聞いて、入りたい時間帯に入浴している。入浴しない日は、足浴をして白癬の予防にも努めている。	
			(外部評価) ご自分の石鹸やシャンプーを準備されている方もあり、入浴時間の希望を言われる方は、希望の時間に入浴できるよう支援されている。現在、シャワー浴や清拭での支援になっている方がある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 早く寝られる方、ニュースを見て寝られる方など、本人のペースに合わせて支援している。 昼寝の時間も設け、休息がとれるよう気をつけている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別に服薬内容のファイルを作成しており、変更時には申し送りしている。 薬の準備、服薬介助する人それぞれが、ダブルチェックをして事故の防止に努めている。 粒が飲みにくい人には、粉末にして対応している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 花見、いもたき、クリスマス会など季節の行事を家族と共に、過ごしている。 コーヒーの好きな方は、食後のコーヒータイムを楽しまれている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、近隣の散歩に行ったり、外出に行く機会もつくり、気分転換につなげている。	
			(外部評価) 事業所の周囲の散歩や、近くのスーパーやホームセンターに買い物に行かれたり、バラ展やサツキ展に出かけることもある。誕生日には、利用者の希望でご自宅で宿泊された方もおられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) おこずかいは職員が管理しており、移動パン屋さんが来た時には、お金を渡して、支払ってもらったりしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をよくかけられる方には、電話のカードを用意して、希望時に利用している。 家族から届いた手紙は、一緒に読んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングには、季節の花を生けており、リビングの端の空間には、桜、あじさい、ひまわり、栗などの飾りをして季節感を出している。 南北の窓を開けると、風通りが良く、冬は床暖房のため、心地よく暮らしている。</p> <p>居間の壁面には、職員の名前入りの写真や事業所での1年の行事予定表が貼ってあった。調査訪問時には、クリスマスツリーが飾られていた。又、干支の絵が貼ってあり、その下には利用者の生年月日と名前があり、時にご自分の年齢のこと等がおしゃべりのきっかけになっている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングにあるソファで過ごされたり、ローカの端には、独りで座れるソファも用意している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人の馴染みのものを持ってきていただき、居室に置いて自分の家と同じような空間づくりをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お孫さんの結婚式の写真や、ひ孫さんの写真を飾っておられる方もあった。趣味の海外旅行での写真や、その際に買って来られた記念のものを置いておられる方もあった。部屋でラジオや歌を聴いて過ごされる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>居室入口、ローカには手すりを設置して、歩行訓練や立位練習に活用している。</p>	